

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170400865		
法人名	有限会社 エアステス		
事業所名	グループホーム Myほ～む童里夢		
所在地	札幌市西区平和3条7丁目8番1号		
自己評価作成日	平成23年8月26日	評価結果市町村受理日	平成23年10月18日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。
<http://system.kaigochoo-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0170400865&SCD=320>

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

運営理念を目標に常に心のこもったケアを日々行っています。入居者様との毎日の生活を大切に、生活リハビリとしての家事を共に行い、その時々にも自然に笑顔になるような関わりをしています。また、筋力の低下防止の為毎日散歩・ラジオ体操や独自の体操を行っており、ADLの維持の為出来る事は意欲的に行って頂けるよう日々の会話・声掛けにも充分配慮しております。
 レクリエーションではその時々季節を感じられるもの・懐かしさを感じられるもの等、入居者様の今までの生活を思い出せるような内容で計画し楽しんで頂いています。
 ご家族様にはいつも安心して頂けるよう、体調の変化・外出等の際にはお知らせしております。ご家族様との会話の中から入居者様の生活を知ることにより、グループホームでの生活がより良いものとなるよう努めています。この事により認知症の進行を少しでも遅らせる事が出来るのがグループホームであると信じており、「自分の親だったら」「本当の家族のように」と考え介護させて頂いております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室		
訪問調査日	平成23年9月20日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

札幌市郊外の閑静な住宅地に建つ、民家改造型3階建て1ユニットの事業所である。内部は家庭的な造りで、自宅にいるように寛くことができ、洋室や和室、洗面台やトイレ完備の居室もあり、それぞれに温かさや趣がある。芝生敷きの広い庭では、毎日のラジオ体操や運動・外気浴を行い、健康増進に効果を上げている。庭には椅子やテーブルも置かれ、暖かい日のティータイムや昼食・焼き肉パーティ等に利用されている。管理者及び職員は、利用者個別にきめ細かな介護をし、信頼関係と馴染みの関係の中で共に過ごす日々を大切にしており、家族の信頼も厚い。利用者の身体機能に合わせた、体操・歌・おやつ作り等のレクリエーションを取り入れ、事業所内でも楽しく過ごせるよう工夫している。また外食や外出行事も多く、地域での生活を実感できる活動を、積極的に取り入れられている点は大変評価できる。地域密着型として、今後さらに期待される事業所である。

.サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日頃から地域のつながりを密にするために職員間で話し合いを行い、地域の方々とコミュニケーションを取っております。理念や組織については内部研修を行っております。	地域密着型サービスの意義を理解し事業所独自の理念を作り、玄関・食堂に掲示しており、パンフレットにも明記している。ミーティングで話し合い、ケアサービスに反映されているか確認している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流として行事(避難訓練等)へのお誘い、運営推進会議等でも交流を深めております。また、近所の方がボランティアで小物作りに来て下さったり散歩の際には声をかけて頂いております。	町内会に加入しており、事業所の収穫祭や避難訓練には、地域住民の積極的な参加がみられる。また小物作りのボランティア訪問もあり、利用者の楽しみになっている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議や行事の際に入居者様の状況を説明しつつ認知症の人への理解や支援の方法についてお話をしております。			
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回利用者様の状況報告、サービスの状況また、評価への取り組み状況について報告し改善すべき点は話し合いをし取り組み、サービスの向上、改善に努めています。	運営推進会議は2ヶ月に1度開催され、地域包括支援センター職員・地域代表・利用者家族・ホーム職員が参加している。利用者の状況・行事予定と報告等がなされ、事業所のサービス向上に活かされている。	運営推進会議開催日時は、利用者家族に知らせ、広く出席者を募るよう期待する。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2ヶ月に1回西区の管理者連絡会に出席し、区や市の職員と連携を図っております。	ケアサービスの疑問や質問等は随時相談し、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。地域包括支援センター職員は、運営推進会議にも出席し、意見交換を行っている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないよう全職員が理解し、ケアを行い、特に経験のない新人職員に対しては入職時その都度指導しております。玄関にはチャイムを置き通ると鳴るようにしております。	夜間以外、玄関は施錠せず鍵をかけない暮らしを実践している。身体拘束に関するマニュアルは完備し、拘束のない自由な生活をしている。身体拘束に関しては重要事項説明書に明記している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	運営推進会議で包括センターの担当の方や民生委員、地域の方々と話し合いを行っております。全職員が理解するよう外部研修の報告、資料も常に見られるようにしております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	全職員が理解するよう外部研修の報告、資料も常に見られるようにしております。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には契約内容、重要事項について十分な説明を行い理解、納得して頂いております。解約・改定についても説明し、不安、疑問点の無いようにしております。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設け、意見・不満・苦情を言っても伝えて頂ける様にしております。そういった事があった際には面会時等傾聴の場を設け運営に反映出来る様にしております。	玄関には意見箱を設置し、家族が意見や要望等を表出しやすい工夫をしている。また訪問時の会話の中から希望や要望をくみ取り、家族の思いを運営に反映するようにしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1ヶ月に1回ミーティングを行っており職員の意見や提案を聞く機会を設けております。日々の中でも何かあれば話し合いをし反映出来る様心掛けています。	職員参加のミーティングは月一度開催し、意見や提案を聞く機会がある。そこで出たアイデアや気づきは、ケアサービスの充実に効果を上げている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の勤務状態を聞きながら把握し向上心を持って仕事に取り組む事が出来る様常日頃より職員とコミュニケーションを取り働きやすい環境づくりに努めています。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修(新人研修)や外部研修の参加、報告と日々のケアの中で必要に応じて指導を行い、職員のスキルアップに努めています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議への出席、他のグループホームとの合同の行事への参加をする事で交流する機会を持ちサービスの質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを取り、入居者様の性格や個性を把握し、ご本人様らしい生活が出来るように努め信頼関係を築いています。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族やご本人様とお話を充分にし、ご意見やご要望を良く聞いて良好な関係づくりに努めます。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様やご家族の話を良くお聞きし、ご本人様が生活する上での問題点を考えケアプランを立て支援しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を家族だと思い入居者様の気持ちや考えを大切に共に過ごしています。		
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様を良く観察しコミュニケーションを取って、入居者様の状態を把握しご家族に報告して、共有した情報で支援していくように努めています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や知人の方がお気軽に面会出来る様に対応しています。必ずその際には、身元を確認させて頂いています。	これまでの人間関係や、馴染みの場所との関係が継続できる様に支援しており、家族を含め親族や知人の訪問もあり、継続的な交流ができるように支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーションを行い、入居者様同士が楽しく関わり合い楽しく過ごせる様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	継続して良い関係が保てる様に必要に応じて付き合い等を行わせて頂いております。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の会話の中から希望等をお聞きし、ケース記録や連絡ノートに記入し、職員間で情報を共有出来る様にしております。困難な希望や思いが伝えられない方にはなるべく近いものを提供し、その人らしく生活出来る様に支援しております。	センター方式を活用し、家族から得た情報や日頃の行動・表情、過去の生活歴を基に、個々の思いや暮らし方の希望や意向を汲み取り、職員間で情報の共有をしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様、ご家族様より入居前の生活について充分にアセスメントを行わせて頂いております。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の体調や気分等に応じてその方に合った場面作りが出来る様努めております。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様・ご家族様の希望を基にカンファレンスでは担当のケアを中心として意見やアイデアを出し合ってケアプランの作成に当たっています。	定期的な見直しは3カ月毎に行っている。毎日の状態を記録し、カンファレンスで話し合い、状況に即したケアプランを作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や変化、気づき等を個別ノート等に記入を行い職員間で情報を随時共有しております。また、ケアプランの見直しにも活用しております。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同系列の事業所と連絡等を取りご本人様、ご家族様のニーズに応じた支援を行わせて頂いております。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難(防災)訓練には入居者様にも参加して頂いております。その他小物作りのボランティアの方が近所から参加されています。		
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師が週に2度対応にあっております。また、2週に一度の訪問診療、月に一度の往診で対応を行っています。急変時にはその都度対応を行っています。	利用者希望のかかりつけ医には、入居後もそのまま受診できるように、通院時の送迎をしている。事業所には看護師が2名勤務している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	心身共に異常が発生した時は直ぐに看護師に相談し、適切な受診が受けられる様日常の健康管理をしております。			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と相談しながらご本人様の意向もお聞きし対応をしております。			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期のあり方については出来るだけ早い段階でご家族様、かかりつけ医、看護職員で話し合い職員同士ケアの方針を共有しております。	『医療連携体制指針』を作成し、看取りの考え方を明文化している。早期から家族・かかりつけ医・看護師と連携し、話し合いを重ねており、本人や家族の希望を尊重し、最善を尽くしている。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応策のマニュアルを作成し、応急手当等は看護師または消防施設での訓練などで行っております。			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防職員と共に施設内で定期的に避難訓練を行っております。また、全職員が避難時の誘導対処の仕方を理解出来る様指導しております。	消防署の協力の元、近隣住民や利用者参加で、年2回の避難訓練を実施し、非常時に備えている。近隣住民を含めた連絡網を作成している。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりに合わせてプライバシーを損ねない様言葉かけをしております。	日頃から個々を尊重した言葉がけに配慮している。ミーティングや日常業務を通じ、意識付けに努めている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現がなかなか出来ない方には時間をかけ職員から声掛けし、思いや希望を表せる様働きかけ対応しております。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、せかす事なく希望に添う様支援しております。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問理容を利用したり毎朝や入浴後に職員が整えております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各入居者様に出来る事を負担にならない様にして頂いております。メニュー書き、食材の調理や食事の準備をする事で食事を楽しみになるように心掛けています。また、後片付けや米とぎ、食器拭き等もして頂いております。	利用者と共に調理・配膳・後片付け等を行い、楽しく食事が出来るように支援している。カロリー計算された献立を、栄養士が作成することにより、インシュリン注射をしていた利用者が、注射の必要がなくなる等、効果を上げている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりに応じておかゆや刻み食、ミキサー食にし、水分量も確保出来る様に一人ひとり記録をしながら職員全体で支援しております。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後見守り、介助にて口腔ケアを行い口腔状態を確認しております。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	介助が必要な方には、時間や行動パターンや排尿記録を見ながら声掛けや誘導して失敗が少なくなる様に支援しております。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、周りの人に気づかれぬ様に、さりげなくトイレ誘導し排泄の自立支援をしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝はラジオ体操と天気の良い日は散歩に行かれています。天気の悪い日は廊下歩行をして頂いております。午後は体操と廊下歩行をして頂いております。また、野菜等は食べ易い様に調理して取り組んでいます。水分についてはこまめに取って頂いております。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	体調やその日の気分に応じて無理強いはせずに、後日様子を見て入浴して頂いております。また、入浴間隔があかないように配慮しています。	一人ひとりの希望や体調に合わせた入浴支援をし、リラックスして入浴できるように支援している。浴室は温度差に配慮し、床暖房になっている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調が優れない方や長時間座位状態の方には居室で休んで頂き時間を見て見回りを行い声掛けしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の用法、用量を把握し状態に応じて医師看護師の指示を受けて薬の増減をして服薬の支援をして症状の変化を確認しております。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各入居者様の出来る役割を持って頂き、活気のある生活になるように支援しています。また、季節に合わせたレクリエーションも行い楽しみや、気分転換になる様に支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は毎日ラジオ体操や散歩に行っております。外出は個々の希望を取り入れ楽しんで頂ける様支援しております。	心身の活性化につながるよう、日常的に散歩やラジオ体操で、事業所の広い庭に出ている。自然に屋外へ出掛けられるように、外出行事が年間計画の中に多数盛り込まれている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人様の希望により管理の出来る方は現金を持って頂いております。管理が必要な方は使用時に援助しております。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を出す支援や電話を掛けたい方には対応させて頂いております。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季を感じる様なカレンダー作りや飾り付けを皆様と共に一緒に作成し楽しんで頂いております。季節の花なども飾る様心掛けております。	共用空間であるリビングの壁には、利用者の手芸作品や行事写真が飾られている。採光・臭気・温湿度・換気に注意を払い、清潔で居心地のよい共有空間となっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関や居室の大小様々なソファーや食堂においても見守りの元ゆったり安心して過ごせる様に配慮しております。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の写真や昔からのなじみの家具などを配置し、また、お誕生日など職員が手作りしたカード等も飾り穏やかに安心して過ごせる様に配慮しております。	居室には自宅で使い慣れた私物や調度品などを持ち込み、馴染みの品々に囲まれ安心して寛いで過ごせるよう配慮・工夫している。家族の宿泊にも対応できる広さがある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂場等わかり易く案内板を使用しております。また、手すりや昇降機などを設置し安全に移動、歩行出来る様にしており廊下等に物を置かない様に気を付けております。		